

山岳トイレ技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 16 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催状況等

平成 16 年度については、各実証試験地にて実証状況の調査・確認を 3 回程度予定している。4 回目は東京にてまとめを行う予定。

(WG 検討員名簿は資料 2 - 3 - 2 参照)

(2) 実証試験要領策定にあたっての特記事項

平成 15 年 8 月 8 日に初版を策定。その後、富山県の実証試験状況等を踏まえ、平成 16 年 6 月 2 日に第 2 版を策定した。改訂のポイントは次のとおり。

専門用語を全体的に整理した。

実証申請内容の実証試験地(候補)に関する情報を詳細に設定した。

実証申請内容の装置に関する情報に設計コンセプトを追加した。

対象技術の選定手順に、実証申請者に実証対象装置に関するヒアリングを必要に応じて実施することとした。

し尿処理方式の処理方法解説内容を一部修正した。

実証試験中における当該場所の自然環境データを可能な限り把握することとした。

室内環境の実証項目に、快適性及び操作性における許容範囲を利用者からのヒアリング等により把握する項目を追加した。

平成 16 年度「環境技術実証モデル事業」実施要領が確定したことにともない、「知的財産の扱い」を追加した。

(3) 実証機関選定

平成 16 年度における実証機関は次のとおり。

長野県

静岡県

神奈川県

NPO 法人 山の ECHO

富山県(平成 15 年度に引き続き)

2. 今後の予定

各実証機関(富山県を除く)にて、対象技術を募集・選定し、実証試験を実施する予定。